

(株)イトイグループホールディングス



(株)イトイグループホールディングスは、“誰も取り残さない社会”の構築を目標に事業を行う“地方創生企業”です。

問合せ先 <https://www.itoi-good.co.jp/>
TEL.0165-28-2600



CLTを採用したきっかけ

創業70周年を迎え、社屋の建て替えを考えていたのが始まりです。当社の創業当時は林業をやっていました。この地域で商売させていただいているということもあってぜひ「地元の木」を使った建物を建てられないかという検討の中、道庁さんにも相談し色々な支援メニューの中から選びました。CLT建築は、構造自体も魅力的であったし、その可能性も魅力的であったので、ぜひこれはチャレンジしてみようと思って採用させていただきました。



費用対効果について

社屋を見ていただくとわかりますが、柱を使わない大開口のデザインを道産材で作れるということがCLTの最大の魅力です。それを、地元の木材で使いたいという思いがありました。当時、道内加工だと大きさが足りない状況で、やむなく、大きいパネルが造れる岡山の会社へ道産材を持ち込むという選択をしました。コストは外材を使ったものに比べれば非常に高くつきましたが、それに見合うリターンがあるだろうと考えました。道産材を使ってこれだけのものができるという訴求性があり、会社の事業自体を知っていただくのにも寄与していますし、結果として会社としてのブランディングであったり、特にリクルート部分でのアピールにも大きく効果を発揮しているところです。



CLTとは？

直交集成板CLTは木材の弱点を改善した新しいパネルです。構造材としては非常に強度が高く、イトイさんの社屋のように柱のない大きな空間を作ることが可能です。しかも、RCに比べて軽量なので施工性も良く、工期の短縮にもつながりますし、鉄と比べて環境負荷も少ないので、今後は色々な建物に使われて需要が拡大していくだろうと期待しています。

林産試験場 大橋さん



代表取締役
菅原 大介さん



SDGsの考え方に沿って会社の事業方針を定めています。この地域で生まれ育った子どもたちが、この地域にいるから満足な教育が受けられないとか、満足のいくスポーツに触れあえないということがあれば、企業として見過ごすことはできません。そういうものを提供していくことが、ここに根を張って活動する企業としての責務だと思って取り組んでいます。

地域とのつながりについて

会社はちょうど朝日町の入口にあり、夜通ると灯りがとる社屋がきれいだねと喜んでいただいているようです。社屋のみならず、外構施設にもいろいろな木製遊具を設置し、放課後や休みの日にバスケットやブランコなどで子どもたちには楽しんでもらっています。2021年の夏、地域の子どもたちを対象にキッズアスリートキャンプを企画して、プログラミング教室やeスポーツの大会、野球の練習やジャンプスポーツに触れあう機会をこの施設を使って設け、3日間のキャンプをしたのですが、非常に好評でした。



社員の方の感想は？

木の香りでリラックス効果があり、机の天板もCLTを用いているので、一体感があって非常に働きやすい環境がつくれていると評価を得ています。

